



まけないぞう 20 年を記念して
「まけないぞう 20 年ありがとうキャラバン」
をスタートします！！
ぜひ、ご協力をお願いします。



KOBE 発生きがい支援協働事業「まけないぞう」を長期に渡りご支援頂きありがとうございます。1995 年 1 月 17 日に発生した阪神・淡路大震災から 22 年を迎えました。その震災をきっかけとして 2 年後の 1997 年 7 月に生まれた「まけないぞう」が 20 歳になります。この長い間みなさんに支えられて、お陰でこんなに大きくなりました。この 20 年間で約 26 万頭の「まけないぞう」が全国・全世界に広がっています。本当にありがとうございます。

これまで 22 年の間には、多くの災害が発生し、辛いこともたくさんありました。被災者の方に「なんで私はいま仮設で『まけないぞう』を作っているんだろう」と言われた時、何も答えられませんでした。それでもずっと「まけないぞう」を作り続けてきた作り手さんである被災者の方が「ぞうさんの鼻のように、私も長く元気で生きていきます」というメッセージをくれた時は、「長く辛抱した甲斐があった！」と嬉しくなりました。こうして「まけないぞう」は多くの被災者の心の支えになってきました。

一方で、「一本のタオル運動」の活動を通して、寄付という形で「まけないぞう」の材料となるタオルを全国から集めています。当センターにはこれまでたくさんのタオルとともに、支援者の方からは「被災地のみなさまのことは、これからもずっと忘れないし、自分のできる範囲でこれからも支援していきたいと思っています」など、たくさんの励ましのメッセージが届きます。

そこで、今年は 20 年という節目でもあるので、これまでご支援して頂いた方々にお礼とご報告をするために、みなさまのお住いの町へお伺いしたいと考えています。その出会いの中で、「まけないぞう」を通して頂いた、たくさんの幸せをみなさんと共有したいと思います。そして、このキャラバンを通してまた新たな気づき・ご縁を得られればと願っております。何卒、ご協力の程お願い致します。

具体的な内容につきましては、裏面をご覧ください、ご検討下さい。ご協力お待ちしております。どうぞよろしく申し上げます。

代表 頼政 良太
被災地 NGO 協働センター
神戸市兵庫区中道通 2-1-10
TEL078-574-0701 FAX078-574-0702
Email : info@ngo-kyodo.org
まけないぞう担当 増島 智子
顧問 村井 雅清 (090-3160-3816)

～キャラバン受け入れのためにお願いしたい、具体的な内容とは？～

- 1、キャラバン隊（1～2名）を受け入れして下さる地域や団体を求めています。
- 2、まけないぞうの販売ブースのご提供。（長机2本とパイプ椅子2脚程度）を求めています。
- 3、「まけないぞう」「被災地の現状」「防災・減災」「災害救援」「ボランティア」などについての講演会の開催。（テーマは何でもご相談に応じます。講師料無料）
- 4、「一本のタオル運動」へのご協力をお願いします。
- 5、その他（要相談）

上記のような形で「まけないぞう 20年ありがとうキャラバン」にご協力をして下さる方は、誠に恐縮ですが、下記の2点が受け入れの条件となります。ご理解の程よろしくをお願いします。

*神戸からの交通費のご負担をお願いします。

*「まけないぞう」販売の機会を設けて頂きます。

<具体的には・・・>

◆販売ブースを出展できる場所の提供

（例：バザーを企画をして頂いて、その一画で「まけないぞう」の販売コーナーを作る）

◆講演会の実施とともに「まけないぞう」の販売をさせて頂く

◆事前にタオルの呼びかけをして頂き、タオル回収をしながら販売を行うなど、いずれかにあてはまるようなイベントを提案して頂ければ光栄です。

*なお、詳細については別途個別にご相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください。



まけないぞうとは??

全国から「一本のタオル運動」を通して、ご寄付いただいたタオルでぞうの形にかたどった壁掛けのお手拭きタオルです。一つ400円で販売しています。400円のうち、100円が被災者である作り手さんの収入となり、50円が「まけないぞう基金」として、プールされ、被災地に還元していきます。

「一本のタオル運動」とは??

「まけないぞう」の材料となるタオルを集める活動です。新品であれば、色柄物は問いません。各地への材料輸送等のために、タオル1枚につき10円のカンパにもご協力ください。